

# Rotary MAEBASHI WEEKLY REPORT

2018-2019 | インスピレーションになろう *Be the Inspiration*

楽しいロータリークラブを実現しよう

2019. 2. 5 (火) 第3122回 例会報告

例会日…火曜日 (12:10) ~群馬ロイヤルホテル

(第1回 昭和28年9月8日創立)

ホームページ URL <http://www.maebashi-rc.jp/>

電子メールアドレス [office@maebashi-rc.gr.jp](mailto:office@maebashi-rc.gr.jp) [maebashi@rid2840.jp](mailto:maebashi@rid2840.jp)

会 長…宮崎 瑞穂

幹 事…温井 尚久

クラブ会報委員長…江原 友樹

編 集 者…山下 哲弘

**点 鐘** 宮崎会長

**ロータリーソング** 「奉仕の理想」

**司 会** 伊藤副幹事

**ビジター**

◎米山奨学生 オウ ギョウソウ さん

◎前橋国際奨学生 ファム トウン ラム さん

**記念品贈呈** 望月副会長

■誕生祝

齊藤 美絵、関田 文夫、  
清水 宣彦、安藤 智、  
望月 和子、山田 邦子、  
小林 哲、柘植信一郎、  
熊木 義隆



■結婚祝

遠山 昌子、星崎 功明、関田 文夫、温井 尚久、  
清水 雅弘、紺 正行

■皆勤賞

望月 和子 (満11年)、山田 邦子 (満16年)

**奨学金贈呈**

◎米山奨学生  
オウ ギョウソウ さん



**米山功労者表彰**

宮久保純子会員



**前橋国際奨学会委員会**

◎前橋国際奨学生  
ファム トウン ラム さん



**会長の時間** 宮崎会長

皆さんこんにちは。

立春も過ぎ、昨日は春1番もあり春の息吹がそこかしこに感じられるようになりましたが、まだ寒い日もあり寒暖の差が大きいのでご健康にお気を付けください。



います。国際紛争については相変わらず中東や世界中の多くの所で対立があり、殺し合うような争いが絶えず、AIが使われる世になり知識だけは大きく増えても人間は殆ど賢くなっていないように感じるのは私だけでしょうか。当事者になると自分こそ正しいと思っており、あるいは自分や自国の利益のために正しいことをしていると思っているのですが、相手の立場になって考えることが出来ればかなりの部分が解決するのでしょうか。前橋国際奨学生については、この後幹事からも説明がありますがそろそろ菊川年度の奨学生の募集が始まります。

今日は先ほど理事会がありましたのでその報告をします。まず2、3月の行事予定が承認されました。2月は夜間例会があり外部卓話が予定され3月も外部卓話が予定されています。3月には幾つかのクラブから創立記念式典の案内が来ています。3月には会長エレクト、次年度幹事研修セミナーPETS、SETSも開催され次年度がいよいよ始動します。

さて会長の時間ですが今日は医療におけるセカンドオピニオンについてお話しします。この言葉は殆どの方が耳にしたことがあると思いますが、要するに診断がついて方針を決めるときに主治医とは別の医師に独立した意見を聞くことです。目的はもちろん納得して医療を受けるためです。でも少し誤解されている面もありますので、そのことについてもお話したいと思います。

アメリカでは1980年代から治療内容が地域や施設によって大きく異なることからその是正と医療費の削減のため、複数の独立した医師がその必要性を認めないと手術をしても報酬が支払われないということで医療制度として始まりました。結局医療費の削減には役立たなかったのですが、医療情報の開示や人権の保護のために普及し日本にも入ってきました。

通常は話の内容は理解できたが納得できないとか自分の要望に沿った他の方法がないか知りたいときに申し出てから始まります。その時、主治医はこれまでの経過や、検査結果、画像を付けて紹介します。これは次の医師の診断を受けることとは違うので診察には当たらず社会保険は使えません。多くの病院ではこれを受け付ける窓口を作り、時間や料金を設定しており、時間のとれる部長や、医長が担当しているところが殆どです。この辺では通常30分~1時間で料金を5千円から3万円に設定しているなどかなり差があります。あくまで意見を聞くのですからですから、原則として検査や投薬、治療は行わず、医療への不満や訴訟の相談、死んだ人の相談には応じません。セカンドオピニ

オンの担当医は提供された話を聞いて持参した検査、画像などで判断します。適切なタイミングとしては治療が始まる前です。治療が始まってしまっただけでは元に戻れないので相談を受けても余り役に立ちません。セカンドオピニオンを適切に受ける前提は初めの主治医の話の内容を十分に理解していることです。しっかり理解していないのに意見を聞かれても担当医は困ります。だから最初に分からないことが有ったら主治医にしっかりと聞くことです。この時にそれを面倒くさがる医師なら医師を変えても仕方が無いと思います。ただし医師も忙しいので一人で自信が無ければ他の人を連れて行くなどの心配りが必要です。セカンドオピニオンの医師は自分で意見を聞きたい医師を選ぶべきです。主治医に任せ自分と同じ医局育ちの仲間だったりすると考え方がおなじ意見の医師を選ぶことになりかねません。まだセカンドオピニオンを求めることに気後れされる方もいるかもしれません。しかし今では各病院もこれを推奨しているので、気分を害する医師は殆どいませんし、患者さんが迷っていると感じたときはこちらからセカンドオピニオンを勧めることもあります。私の患者さんで子供さんの手術で東京の有名な大学病院を2つ選んでセカンドオピニオンの紹介状を書いたことがあります。結局そのうちの一箇所を納得して帰ってきて、当院で手術をしたことがあります。セカンドオピニオンを受けることは患者さんの権利と言って良いでしょう。ただし紹介状については義務とは言えないので良く話を聞いてから、申し出ると良いでしょう。

セカンドオピニオンとよく間違われるのは担当医に不信、不満があったり納得できず医師を変えたいときです。他の医師にかかる時は医師を変えて次の医師で新たな診療を受けることなので、保険も使えます。

医師を変えることは患者さんにとってはなかなかハードルが高いと思います。しかし日本の制度はフリーアクセスですから、どの医師を選ぶかは患者さんの権利です。患者さんと医師には相性があります。実力があっても相性の合わない医師はいます。少し強引でも方針まで分からないから任せて決めてくれる医師を良いと感じる人もいれば、ため口の方が親しみやすいと感じる人もいますし、キチンと対応してくれる医師が良いと感じる人もいて様々です。だから合わないと感じたら変えて良いでしょう。信頼や納得ができていないのに診てもらうのはお互いに不幸なことです。医師を変えるときも出来れば前の医師から紹介状を書いてもらって、検査などを付けてもらえば次の医師は楽です。転移の理由は不満だからとはっきり言ってもかまいませんが、当たり障りの無い理由、例えば次のほうが家や職場に近く通い易いとかの理由を申し出ればあえて波風を立てずに済みます。病院の外来なら曜日を変えれば違う医師に変わります。

医師の間では「後医は名医」という言葉があります。もちろん最初の医師は何も無いところから診察が始まるわけですが、次の医師は前の結果を見てその上で診療が始まるので情報が多く、特別優れていなくても間違いが減り、うまくいくことが多くなります。だからしっかりした医局や病院は前の医師のことを悪く言うてはいけなく教育しています。しかし中には自分の方が名医と見せたくて前の医師を批判する医師が偶にいます。これは医療不信を招き困ったことです。

時々他院に入院中の方から転院を頼まれることがあります。医師を選ぶのは患者さんの権利ですから、仕

方ありませんがそのようなときもまず前の医師の了解を取ってもらい、出来れば紹介してもらえれば後がスムーズです。言い方はあっても黙って変えても医師同士は仲間だったり、その科では顔見知りのことが多く狭い中で情報は良く伝わります。言い方はあっても前医の了解を得て欲しいと思います。

医療はなんと言っても患者さんが主体です。だから十分納得して医療を受けて欲しいというのが殆どの医師の願いです。医師に任せで楽をすることは許されない時代になっています。それなのに少し治療だけで治らないからとか、薬だけに頼って自分では努力せず、医師を転々と変えるのはドクターショッピングといって医師も本気になりません。医師が治すと言うのは間違いで、医師は患者さんが治る手助けをするだけです。そして医療は患者さんと医師の共同作業です。

#### 幹事報告 温井幹事

1、2月のロータリーレートは110円です。

2、次回、2月12日の例会は外部卓話です。講師は結城松平家三十五代目当主 松平 直泰 様です。会場は群馬ロイヤルホテルです。

3、2月11日(月)の14時から地区新会員セミナーが実施されます。会場は前橋問屋センター会館です。出席予定の方はお忘れなくお願いします。

#### 副幹事報告 伊藤副幹事

前橋北RC、伊勢崎東RC、安中RC、富岡かぶらRC、沼田RC

#### 出席報告 田部井会員

会 員 数：122名 { 出席者 88名  
欠席者 34名

本日出席率：75.21%

前々回訂正：69.23%

#### ニコニコBOX報告

##### ■平出 昌男…弊社発行情

報誌“ほほえみながら”を長きに亘りご愛読頂きありがとうございます。このたび創刊当初からご寄稿いただきました山口晴保先生による認知症、河崎・井上先生による健康寿命の総集編を2分冊にて発行し、皆様のBOXに入れさせて頂きました。手許に置き、いつでも取り出し、参考にしていただくべく保存版としてご活用いただければ幸いです。またバックナンバー、保存版が必要な場合はいつでもご連絡ください。

■山田 邦子…インフルエンザが流行しています。手洗い、うがいをしましょう。早めの医療機関を受診しましょう。

■伊藤 尚志…誕生日に素敵なお花を頂きました。久しぶりに華やかな誕生日となりました。ありがとうございました。

##### ■朱 孝…

#### ロータリーの友報告

船越会員



※クラブ会報は会員の敬称は略させて頂きます